



令和元年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 日 本 基 礎 技 術 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 原 巖
(コード番号 1914 東証 第 1 部)
問 合 せ 先 取 締 役 事 務 管 理 本 部 長 尾 崎 克 哉
(TEL 03 - 5365 - 2500)

通期業績予想と実績との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 15 日に公表しました平成 31 年 3 月期(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)の通期業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせします。

また、個別業績において特別損失を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想と実績との差異について

平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 22,000	百万円 360	百万円 460	百万円 120	円 銭 4.39
実績 (B)	24,481	468	638	156	5.74
増減額 (B－A)	2,481	108	178	36	—
増減率 (%)	11.3%	30.0%	38.7%	30.0%	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期)	22,698	424	550	194	7.04

平成 31 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,000	百万円 600	百万円 10	円 銭 0.37
実績 (B)	22,184	1,144	250	9.17
増減額 (B－A)	2,184	544	240	—
増減率 (%)	10.9%	90.7%	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期)	21,025	1,346	176	6.39

(連結業績)

連結業績予想数値の修正理由としましては、国内支店において工事進捗が進み、工事粗利が改善したことにより、営業利益が 108 百万円増加しました。

また、営業外損益では所有株式の配当金収入が予想を上回ったこと等により、営業利益の増加と合わせて、経常利益は 178 百万円の増加となりました。

当期純利益については、米国現地法人の利益が計画を下回ったこともあり、36 百万円の増加にとどまりました。

(個別業績)

国内支店において工事進捗が進み、工事粗利が改善したことや、設計検討に伴う追加工事を行うなど、営業利益が増加したほか、営業外損益では所有株式の配当金収入が予想を上回ったこと等により、経常利益は 544 百万円増加しました。

また、当期純利益については、特別損益において、米国現地法人に対する関係会社貸倒引当金繰入額および関係会社株式評価損を計上したこと等により 240 百万円増加にとどまりました。

2. 特別損失の計上について

(個別業績)

米国現地法人に係る関係会社株式において、実質価格の下落により、関係会社株式評価損 290 百万円を計上するとともに、債権に対し関係会社貸倒引当金繰入額 245 百万円を特別損失に計上しました。

これらは、個別財務諸表上において特別損失として計上しましたが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

以 上